

**CASBEE 広島 2016年版**  
**(仮称)荒木複合ビル新築工事**

■使用評価マニュアル CASBEE 広島 2016年版  
 ■評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		竣工段階						
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体		
<b>Q 建築物の環境品質</b>							<b>2.9</b>	
<b>Q1 室内環境</b>			<b>0.40</b>		-		<b>2.9</b>	
<b>1 音環境</b>		<b>3.0</b>	0.15	<b>3.2</b>	1.00		<b>3.0</b>	
1.1 室内騒音レベル		<b>3.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	0.40			
1.2 遮音		<b>3.0</b>	0.40	<b>3.6</b>	0.40			
1 開口部遮音性能		4・5階グループホーム居室の窓は遮音性能T-2を採用	3.0	0.41	5.0	0.30		
2 界壁遮音性能			3.0	0.55	3.0	0.30		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)			3.0	0.02	3.0	0.20		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)			3.0	0.02	3.0	0.20		
1.3 吸音		<b>3.0</b>	0.20	<b>3.0</b>	0.20			
<b>2 温熱環境</b>		<b>2.3</b>	0.35	<b>2.0</b>	1.00		<b>2.3</b>	
2.1 室温制御		<b>3.6</b>	0.50	<b>3.0</b>	0.50			
1 室温		3.0	0.40	3.0	0.57			
2 外皮性能		3.0	0.26	3.0	0.43			
3 ゾーン別制御性		各室にヒートポンプ方式エアコンを計画	5.0	0.34	-			
2.2 湿度制御		<b>1.0</b>	0.20	<b>1.0</b>	0.20			
2.3 空調方式		<b>1.0</b>	0.30	<b>1.0</b>	0.30			
<b>3 光・視環境</b>		<b>3.0</b>	0.25	<b>3.3</b>	1.00		<b>3.0</b>	
3.1 昼光利用		<b>3.0</b>	0.30	<b>4.2</b>	0.30			
1 昼光率		4・5階グループホーム居室の窓は可能な限り大きくした	3.0	0.60	5.0	0.60		
2 方位別開口			-	<b>3.0</b>	-			
3 昼光利用設備			3.0	0.40	3.0	0.40		
3.2 グレア対策		<b>3.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	0.30			
1 昼光制御		3.0	1.00	3.0	1.00			
3.3 照度		<b>3.0</b>	0.15	<b>3.0</b>	0.15			
3.4 照明制御		<b>3.0</b>	0.25	<b>3.0</b>	0.25			
<b>4 空気質環境</b>		<b>3.9</b>	0.25	<b>3.7</b>	1.00		<b>3.9</b>	
4.1 発生源対策		<b>4.0</b>	0.50	<b>4.0</b>	0.63			
1 化学汚染物質		全面的にF☆☆☆☆の建築材料を採用	4.0	1.00	4.0	1.00		
4.2 換気		<b>3.1</b>	0.30	<b>3.3</b>	0.38			
1 換気量		3.0	0.47	3.0	0.33			
2 自然換気性能		自然換気有効開口面積は居室面積の1/15以上確保	5.0	0.06	4.0	0.33		
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.47	3.0	0.33			
4.3 運用管理		<b>5.0</b>	0.20	-	-			
1 CO <sub>2</sub> の監視		-	-	-	-			
2 喫煙の制御		ビル全体を禁煙	5.0	1.00	-	-		
<b>Q2 サービス性能</b>		-	<b>0.30</b>	-	-		<b>2.9</b>	
<b>1 機能性</b>		<b>2.5</b>	0.40	<b>4.4</b>	1.00		<b>2.7</b>	
1.1 機能性・使いやすさ		<b>1.1</b>	0.40	<b>5.0</b>	0.60			
1 広さ・収納性		7階執務スペース10.57㎡/人、4・5階グループホーム居室12.56㎡/室以上	4.0	0.03	5.0	1.00		
2 高度情報通信設備対応			1.0	0.03	<b>3.0</b>	-		
3 バリアフリー計画			1.0	0.93	-	-		
1.2 心理性・快適性		<b>3.9</b>	0.30	<b>3.5</b>	0.40			
1 広さ感・景観		3.0	0.08	3.0	0.50			
2 リフレッシュスペース		7階事務所は屋上庭園と隣接	4.0	0.03	-	-		
3 内装計画		明るく温かみのある内装計画	4.0	0.89	4.0	0.50		
1.3 維持管理		<b>3.0</b>	0.30	-	-			
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50	-	-			
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	-			
<b>2 耐用性・信頼性</b>		<b>2.9</b>	0.30	-	-		<b>2.9</b>	
2.1 耐震・免震・制震・制振		<b>3.0</b>	0.50	-	-			
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80	-	-			
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20	-	-			
2.2 部品・部材の耐用年数		<b>3.0</b>	0.30	-	-			
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.20	-	-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10	-	-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-			
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-			
2.4 信頼性		<b>2.8</b>	0.20	-	-			
1 空調・換気設備		3.0	0.20	-	-			
2 給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-			
3 電気設備		3.0	0.20	-	-			
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-			
5 通信・情報設備		2.0	0.20	-	-			

<b>3 対応性・更新性</b>			<b>3.1</b>	0.30	<b>3.0</b>	1.00	<b>3.1</b>
<b>3.1 空間のゆとり</b>			<b>3.6</b>	0.30	<b>3.0</b>	0.50	
1 階高のゆとり		建物全体・共用部分の階高:3.74m	4.0	0.60	3.0	0.60	
2 空間の形状・自由さ			3.0	0.40	3.0	0.40	
<b>3.2 荷重のゆとり</b>			<b>3.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	0.50	
<b>3.3 設備の更新性</b>			<b>3.0</b>	0.40	-	-	
1 空調配管の更新性			3.0	0.20	-	-	
2 給排水管の更新性			3.0	0.20	-	-	
3 電気配線の更新性			3.0	0.10	-	-	
4 通信配線の更新性			3.0	0.10	-	-	
5 設備機器の更新性			3.0	0.20	-	-	
6 バックアップスペースの確保			3.0	0.20	-	-	
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>			-	0.30	-	-	<b>2.9</b>
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮		まちなみへの調和、植栽による良好な景観形成、要綱の遵守	4.0	0.40	-	-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30	-	-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			2.0	0.50	-	-	
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>			-	-	-	-	<b>3.1</b>
<b>LR1 エネルギー</b>			-	0.40	-	-	<b>3.2</b>
1 建物外皮の熱負荷抑制		BPI <sub>m</sub> = 0.70	5.0	0.20	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化		[BE][BE <sub>m</sub> ] = 0.87	2.6	0.50	-	-	2.6
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00	-	-	
4.1 モニタリング			3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制			3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1 モニタリング			3.0	-	-	-	
4.2 運用管理体制			3.0	-	-	-	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>			-	0.30	-	-	<b>3.0</b>
1 水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水		節水型水栓および節水型便器を採用	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			2.9	0.60	-	-	2.9
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		再生クラッシュヤーン	3.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			3.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			3.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20	-	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70	-	-	
1 消火剤			-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)			3.0	0.50	-	-	
3 冷媒			3.0	0.50	-	-	
<b>LR3 敷地外環境</b>			-	0.30	-	-	<b>3.1</b>
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出率は参照値以下	3.4	0.33	-	-	3.4
2 地域環境への配慮			2.5	0.33	-	-	2.5
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.4	0.33	-	-	3.4
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			-	-	-	-	
1 騒音			-	-	-	-	
2 振動			-	-	-	-	
3 悪臭			-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.67	-	-	
1 風害の抑制			3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制			3.0	-	-	-	
3 日照障害の抑制			3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			4.4	0.33	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		光害対策ガイドラインのチェックリストの過半を満足、広告物照明なし	5.0	0.70	-	-	
2 星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-	